

# OKURA

## 第106期 中間株主通信

2025年1月1日~2025年6月30日



代表取締役社長執行役員

**福田 英司**

### 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、日頃から大きなご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
2025年(第106期)中間期の当社グループの状況につきまして、  
ご報告させていただきます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要が継続しているものの、米価をはじめとする物価上昇から個人消費が低調だったことなどにより、足踏み状態で推移しました。また、先行きにつきましては、賃上げによる実質賃金の増加などの期待感があるものの、家計の節約志向、中東情勢の緊迫化や米国の政策動向による世界経済の不確実性などが懸念されることから、今後を見通すことが依然として困難であり、不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、新規材料事業において大型液晶テレビ用ハイエンドディスプレイ向け光学フィルムの受注が増加したことなどにより、当中間連結会計期間の売上高は435億5千1百万円(前年同期比10.5%増)となりました。

利益面では、生産性の向上などによるコスト削減に努めたことや新規材料事業において昨年稼働を開始した新工場の操業が安定してきたことなどにより、営業利益は35億2千7百万円(前年同期比51.9%増)となりました。経常利益は、為替影響も受け、34億9千3百万円(前年同期比29.2%増)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、前期に固定資産の譲渡に伴う特別利益を計上していたことなどにより、25億5千2百万円(前年同期比5.5%増)となりました。

当社は、株主還元を経営上の最重要課題の

一つと考え、業績や事業の将来展開に必要な備えなどを総合的に勘案し、安定的な配当を行うことを基本方針とし、毎期の配当額は「連結自己資本配当率(DOE)」3.0%以上(安定した利益配分の指標)かつ、配当性向30%以上(業績変動利益配分の指標)の継続を目指しております。

また、より一層の株主還元の拡充のため、中期経営計画(2027)期間の3年間は、特別配当(DOE0.5%相当)を実施し、普通配当と合わせて、DOE3.5%水準の配当を行うこととし、2025年12月期の中間配当金は、1株あたり95円(普通配当83円、特別配当12円)と決定いたしました。

2025年の設備投資は、建材事業における四国地域材を活用した木質構造材料事業、R&Dセンターにおけるライフ&ヘルスケア関連事業などの成長・戦略投資を中心に、計71億1千万円を予定しており、計画通り順調に進行しております。

本年は、Next10(2030)の第3ステージである中期経営計画(2027)の1年目にあたります。基本方針である、「①成長戦略の着実な遂行、②事業領域拡大に向けた海外事業の推進、③研究開発機能の強化による新製品の創出」に取り組み、事業領域の拡大を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後も変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

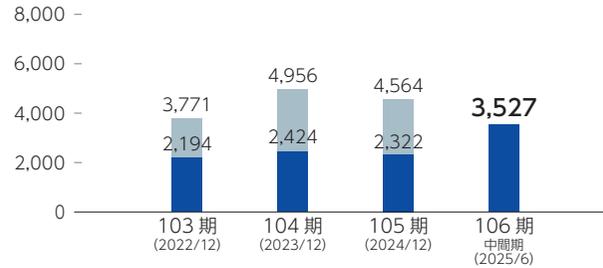
## 売上高の推移

連結：■ 通期 ■ 中間期 (単位:百万円)



## 営業利益の推移

連結：■ 通期 ■ 中間期 (単位:百万円)



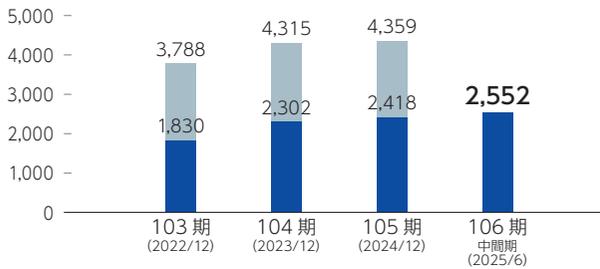
## 経常利益の推移

連結：■ 通期 ■ 中間期 (単位:百万円)



## 親会社株主に帰属する純利益の推移

連結：■ 通期 ■ 中間期 (単位:百万円)



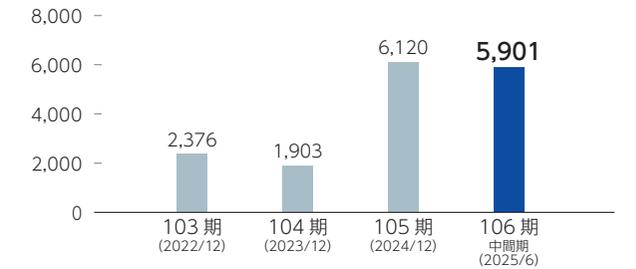
## 1株当たり純利益の推移

連結：■ 通期 ■ 中間期 (単位:円)



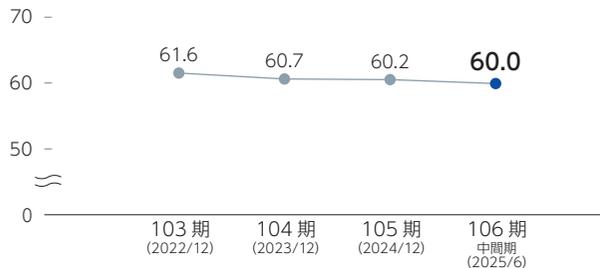
## 借入金の推移

連結：■ 通期 ■ 中間期 (単位:百万円)



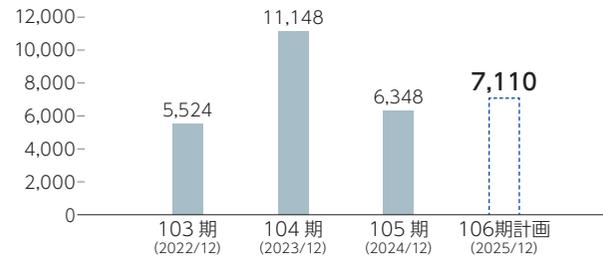
## 自己資本比率の推移

連結：● 通期 ● 中間期 (単位:%)

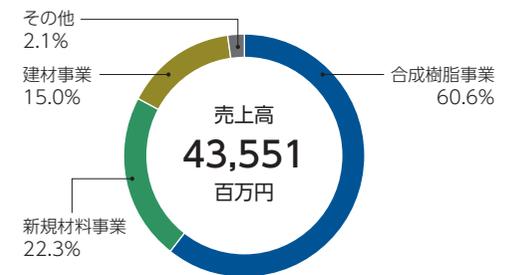


## 設備投資(工事ベース)の推移

(単位:百万円)



## 事業別中間期売上高構成比(連結)



※「その他」の区分は、ホテル事業、情報処理システム開発事業ならびに不動産賃貸事業等を含んでおります。

※本レポートの記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 合成樹脂事業



- プロセスマテリアル製品
- ベーシックマテリアル製品
- アグリマテリアル製品
- ライフ&パッケージ製品

物価上昇に伴う需要逡減により食品や日用品を中心とした包装用フィルムの販売数量は減少しました。一方で、環境保全意識の高まりを背景に環境貢献製品の販売は堅調であり、光学用途の工業用プロセスフィルムの販売も好調に推移しました。この結果、売上高は264億1千3百万円(前年同期比4.1%増)となりました。また、営業利益は前年から取り組んだ価格改定や生産性の向上などによるコスト削減が寄与したことで、28億6千8百万円(前年同期比28.3%増)となりました。

## 新規材料事業



- 光学フィルム
- 無溶剤型アクリル系接着剤  
ユメンシリーズ
- OA機器部材 転写ベルト等
- ウレタンエラストマーフィルム

大型液晶テレビ用ハイエンドディスプレイ向け光学フィルムの受注が増加したことにより、売上高は97億2千6百万円(前年同期比37.1%増)となりました。営業利益は売上高の増加に加えて、昨年稼働を開始した新工場の操業が安定してきたことなどにより、13億3千9百万円(前年同期比105.5%増)となりました。

## 建材事業



- パーティクルボード
- 環境資材
- 住宅部材

基盤事業のパーティクルボード事業は安定操業と拡販努力により販売数量が堅調に推移しました。また、木材加工事業が好調に推移したことにより、売上高は65億1千7百万円(前年同期比7.8%増)となりました。営業利益は売上高が増加したものの、原材料価格の上昇などコストの増加により4億2千1百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

## その他



- ホテル事業
- 情報処理事業

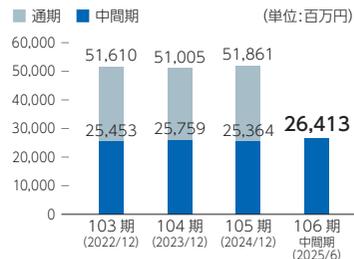
情報処理システム開発事業で調剤薬局向けシステムの販売台数が減少しましたが、ホテル事業においてインバウンドによる宿泊が増加したことなどにより、その他全体の売上高は8億9千4百万円(前年同期比0.3%増)となりました。営業利益は情報処理システム開発事業の調剤薬局向けシステムの更新に伴う開発費用の増加などにより、2億3千6百万円(前年同期比2.0%減)となりました。

売上高構成比

合成樹脂事業



売上高の推移



営業利益の推移



製品情報等



シュリンクフィルム包装例



アグリマテリアル製品

新規材料事業

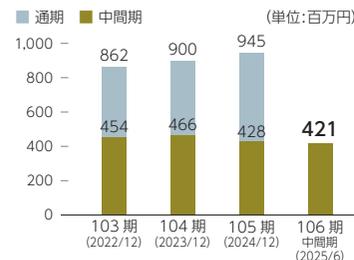
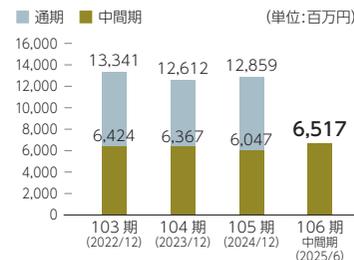


ウレタンエラストマーフィルム



液晶ディスプレイ用光学フィルム

建材事業

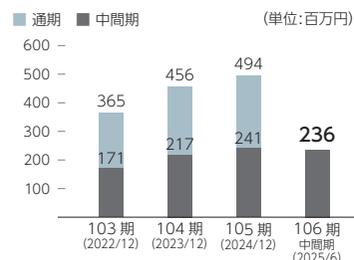
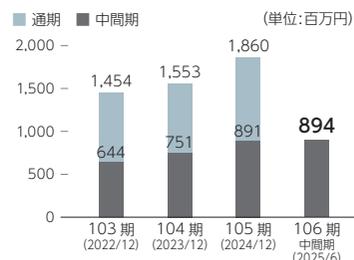
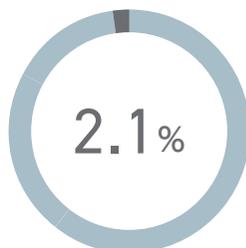


パーティクルボード



オークラハウス 施工例

その他



オークラホテル丸亀  
ロイヤルスイートルーム



一包装印刷照合システム  
Packshot Packs

## 東京支店の移転

当社は、下記の通り東京支店を移転いたします。

### 1. 移転先

東京都千代田区麹町5丁目1番4(地番)

### 2. 移転時期

2025年9月中旬(予定)

### 3. 移転理由

当社グループは経営ビジョンNext10(2030)において、「要素技術を通じて、新たな価値を創造し、お客様から選ばれるソリューションパートナー」をありたい姿に掲げ、中長期的な企業価値向上を目指しています。本年より、その第3ステージとなる「中期経営計画(2027)～絆を育み、輝く未来を～」をスタートさせ、以下の基本方針のもと事業領域の拡大を図ってまいります。

- ① 成長戦略の確実な遂行 ⇒ 投資案件の確実な収益化と高付加価値製品の拡充
- ② 事業領域拡大に向けた海外事業の推進
- ③ 研究開発機能の強化による新製品の創出

「中期経営計画(2027)～絆を育み、輝く未来を～」の実現のため、東京支店を「人」「情報」「知識」が集まる場所に移転して、最新情報を収集・発信する拠点として、また新事業創出のためのマーケティング拠点として支店機能の更なる価値を創出すると

ともに、従業員のエンゲージメント向上を図ってまいります。

## 上海駐在員事務所の設立



当社は、下記の通り上海駐在員事務所(現地名称:日本大倉工業株式会社上海代表处)を設立しました。

### 1. 所在地

中華人民共和国上海市長寧区延安西路2299号6楼06A69(604A69)室

### 2. 設立日

2025年7月1日

## 3. 設立理由

新規材料事業部光学材料BUは、主に大型液晶ディスプレイに用いられる偏光板保護フィルムの製造及び販売を行っております。世界の大手偏光板製造企業の多くは中国国内に拠点を置いており、当社の主要顧客も中国国内に集中しています。この度、中国のディスプレイ市場の更なる拡大を見据え、現地での迅速な情報収集と顧客との関係深化を目的として、駐在員事務所を設立いたしました。設立場所は、中国全土におよぶ顧客へのアクセスの利便性や同業他社からの情報収集の容易さを考慮し、上海市長寧区としました。上海駐在所は、情報収集にとどまらず、最新情報を発信する拠点としての役割を果たし、更なる価値の創出を目指してまいります。

## 四国地域材を活用した木質構造材料の製造事業

当社は、近年の国産材回帰への転換期の到来・木材利用分野の拡大を踏まえ、脱炭素・カーボンニュートラルへの直接的貢献材料にて社会に寄与するべく、香川県産材や四国地域材を活用した木質構造材料の製造を開始することを2023年12月に発表

しました。当事業開始に伴い、製造拠点への準備として、高瀬工場及び工場操業業務を受託する子会社の設立を行いました。

### ・建材事業部 高瀬工場

2025年4月1日付で、新事業推進部を高瀬工場に変更しました。2026年4月の稼働に向け工場建設を進行中です。



高瀬工場

### ・オークラBMワークス 設立

多様な働き方の受け皿を提供して人材を確保するとともに、セグメント内事業間のシナジー拡大を目指します。

1. 名称	株式会社オークラBMワークス
2. 所在地	香川県三豊市高瀬町上麻字原乙333番地17
3. 代表者	福家正志 (当社 建材事業部木構造BU長)
4. 事業内容	木質構造材料の製造
5. 資本金	10百万円
6. 株主構成	当社100%
7. 設立年月日	2025年4月15日
8. 決算期	12月
9. 稼働開始	2026年4月(予定)

## 統合報告書2025公開のお知らせ



当社グループは、2021年より「サステナビリティレポート」を発行し、事業活動やESG（環境・社会・ガバナンス）に関する非財務情報を積極的に発信してきました。2025年からは、「統合報告書」として当社グループの価値創造への取り組みを示す新たな情報発信へと進化させます。

本統合報告書は、中期経営計画(2027)の概要と2024年の活動を軸に、経営戦略やESG活動を包括的に記載し、持続可能な社会の実現への貢献と企業価値の向上について、具体的かつ透明性の高い形でお伝えすることを目指しています。

統合報告書2025は当社ホームページよりご覧いただけます。

## 統合報告書2025

[https://www.okr-ind.co.jp/wp/wp-content/uploads/OKURA\\_Integrated\\_Report\\_2025\\_Japanese.pdf](https://www.okr-ind.co.jp/wp/wp-content/uploads/OKURA_Integrated_Report_2025_Japanese.pdf)



バックナンバー一覧  
統合報告書/サステナビリティレポート

<https://www.okr-ind.co.jp/sustainability/okura-report/>



## CDP2024スコア「気候変動」で「B」、 「水セキュリティ」で「A-」

当社は、2024年に、世界有数の環境情報開示プラットフォームを運営する非営利団体CDPの「気候変動質問書」及び「水セキュリティ質問書」に回答し、「気候変動」で「B」スコア、「水セキュリティ」で「A-」スコアの評価を受けました。

当社は2022年に初めて「気候変動質問書」に回答し、2023年からは「気候変動質問書」と「水セキュリティ質問書」の両方に回答しています。2024年は、「水セキュリティ」において前年の「B」スコアから評価が

向上し、「A-」スコアを獲得しました。

当社グループは、経営理念のもと、『社会から信頼される企業』であり続けるために、事業を通じて社会との共生を念頭に企業の成長を目指す」をサステナビリティ基本方針として掲げ、環境・社会・ガバナンスを重視したESG経営に取り組むことで、持続的な成長と企業価値の向上を実現します。今後も気候変動を喫緊の課題と捉え、対策を推進するとともに積極的な情報開示を行ってまいります。



## 令和6年度 かがわ脱炭素取組大賞を受賞

当社は、令和6年度かがわ脱炭素促進事業者表彰事業において、「かがわ脱炭素取組大賞」を受賞しました。

香川県では、2050年までに県内の温室効果ガス排出量を実質ゼロをすることを目標としています。「かがわ脱炭素促進事業者

表彰事業」は、香川県における脱炭素につながる取組みを促進するため、CO<sub>2</sub>排出量を削減する優れた取組みを行う県内事業者を表彰することで、更なる取組みの促進、展開及び波及を図ることを目的としています。

今回の受賞は、当社グループが「脱炭素経営（気候変動対策）の推進」をマテリアリティとして掲げ、グループ全体で行っている省エネ設備の導入・更新、太陽光発電設備の導入、CO<sub>2</sub>排出量削減コンテストの実施などの取組みが高く評価されたものと考えています。

当社グループは、今後も脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



## 「フロン対策格付け2024」で Aランクを獲得

当社は、一般財団法人日本冷媒・環境保全機構(JRECO)が実施する「フロン対策格付け2024」において、最高評価であるAランクを獲得いたしました。

「フロン対策格付け」は、プライム市場上場企業1,641社を対象に、統合報告書やSDGsレポート、ESGデータなどの公表資料をもとに、フロン排出抑制法への対応状況、算定漏えい量、簡易点検・定期点検の実施状況などを分析し、JRECO独自の視点と基準により事業者の取組みを格付けする制度です。

当社グループでは、環境負荷の低減及び法令順守を企業の社会的責任と捉え、冷媒機器の適正な管理・運用、点検の実施、情報開示の充実に継続的に取り組んでまいりました。今回のAランク評価は、こうした取組みが高く評価された結果であると考えています。

当社グループは、今後も持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



## 「自由人、会社人-トップの横顔-」に 当社が出演

6月14日と21日放送のKSB瀬戸内海放送「自由人、会社人-トップの横顔-」に当社が出演しました。

番組内では、福田社長のインタビューだけでなく、当社製品の紹介や従業員インタビューも行っていたり、当社の魅力について詳しく紹介いただきました。

放送された内容は、KSB公式YouTubeチャンネルにて視聴が可能ですので、ぜひご覧ください。



KSB瀬戸内海放送 公式YouTubeチャンネル

[https://www.youtube.com/watch?v=mq5ehc\\_cwmU&t=1s](https://www.youtube.com/watch?v=mq5ehc_cwmU&t=1s)



## LIXIL方針説明会2025にて 「優秀パートナー賞」を受賞

5月27日に、京王プラザホテル(東京都新宿区)において、「LIXIL方針説明会2025」

が開催され、取引先表彰式にて「優秀パートナー賞」を受賞いたしました。

本表彰は、当社の建材事業部が高品質な商材を継続して安定供給した点を評価いただき、株式会社LIXILの1,000社を超える仕入れ先の中から推薦された12社のうちの1社として選出されました。

今後も品質の向上と安定供給に努め、お客様と共に成長し続ける企業として、社会に貢献してまいります。



### 地元小学校の児童たちが 丸亀第五工場の工場見学に来工

4月25日、地元小学校5年生の教員・児童合わせて18名が、社会科授業の一環で、“身の回りにあるものがどのようにつくられているのか”を学ぶことを目的に、丸亀第五工場を訪れ、工場見学を行いました。

当日は、洗剤やシャンプーなどの詰替え用パックとして使用されているスパウト袋について、フィルムをつくる工程やそのフィルム表面へデザインを印刷する工程、そして、ラミネートして袋状に加工する工程を見学してもらいました。

特に印刷工程では、色彩やデザインの重要性など、児童たちも興味を惹かれていました。

短い時間の中でしたが、児童たちにとって、薬局やスーパーなど身近なところで目にするものがどのような技術と工程によってつくられているのかを知り、また、ものづくりの楽しさを体感する貴重な機会になったのではないかと感じています。



### 三豊市の中学生が詫間工場の 工場見学に来工

6月13日、三豊市の中学2年生の生徒と教員、約45名が詫間工場を訪れ、工場見学を行いました。

はじめに、詫間工場で生産している製品の工程説明を行い、その後、実際に稼働している機械や作業の様子を間近で見学してもらいました。見学の最後には質疑応答

の時間を設け、生徒の皆さんから積極的に質問が寄せられ、ものづくりへの関心の高さがうかがえる場面もありました。ものづくりの現場を体感することで、地域産業への理解を深めるとともに、学びの幅を広げる貴重な経験を得られたのではないかと思います。

今後も地域社会と連携し、地域全体でのものづくりに対する学びの促進に尽力してまいります。



### 「瀬戸内国際芸術祭2025」 ボランティアに参加

当社グループが協賛している「瀬戸内国際芸術祭2025」の春会期が、4月18日から5月25日の間、38日間にわたって開催されました。瀬戸芸では、ボランティア参加者が作品制作のサポートや各島での作品受付、

イベントの手伝いなどを行っています。

大倉工業と(株)オークラプロダクツ 岡山工場から企業ボランティアとして11名が参加し、様々な島で作品受付や来島者のお見送りを行いました。

今後も当社グループは、地域社会との連携を深めながら、文化・芸術活動への支援を継続してまいります。



## 第35回香川広告協会広告賞 当社のCM動画が奨励賞を受賞

7月15日、香川広告協会による「第35回香川広告協会広告賞表彰式」が開催され、当社のCM動画が「奨励賞」を受賞しました。この賞は、昨年1年間に香川県内で発表された広告について、新聞部門、ラジオ部門、テレビ部門、印刷部門、サイン・ディスプレイ造形部門の5部門に応募された中から、広告の表現方法や技術の優れた作品を表彰するものです。

今回、当社は、テレビ部門へ「いい未来の予感」[買い物]篇、「メッセージ」篇、「手料理」篇各30秒」で応募し、応募総数28点の中から奨励賞を受賞しました。

この広告は、「皆が振り向くような登場感はなくとも、社会は着実に良い未来へ進んでいる。そして、そのそばでは、当社グループの製品が進化を支えている。ということ、皆さまに知ってもらいたい」という思いをコンセプトにしています。

今後も当社グループは、事業活動を通じて、地域社会の活性化に寄与してまいります。

### 当社CM動画

<https://youtube.com/playlist?list=P1latU1vNo6QB1aCdt01fHqPaw1sh9GHR&si=ULchpCvYfRj6n8DZ>



## 人材育成について

当社は、中期経営計画(2027)、Next10(2030)を達成するために必要な人材ポートフォリオの作成を行い、その達成のため人材別に教育・研修を実施しています。2025年より、その一環として能力開発研修を開始し、下記の通り開催しました。

ロジカルシンキング研修	思考のフレームワークを活用しながら、業務で実践できる論理的思考を身に着ける
傾聴力研修	傾聴力を高める「聴く力」「質問力」、相手の成長を引き出す「声かけのコツ」を学ぶ
プレゼンテーション・提案力研修	論理的で簡潔な伝え方など、伝わりやすいプレゼンを実現するためのスキルを身に着ける
人材活用力研修	メンバーの能力と意欲を引き出すコミュニケーションのポイントや、チーム力を高めるために必要な行動を学ぶ



## コンプライアンス推進月間・ 環境管理強化月間の実施



### ・コンプライアンス推進月間

当社グループは2024年5月から、毎年5月をコンプライアンス推進月間と定めており、2024年のテーマ「ハラスメントの撲滅」に続いて、2025年は「気づけ『不正』、築け『信頼』」をテーマとして実施しました。今回は、各部署主導での研修資料を利用した小集団単位のグループディスカッション

とともに自部署に潜む不正を題材としたKYTを実施し、不正を防止するための予防策の策定を行いました。

### ・環境管理強化月間

国が定める毎年6月の環境月間に合わせ、当社グループにおいても6月を環境管理強化月間と定め、従業員の環境保全への意欲向上を目的とした様々な施策を展開しています。2025年の施策は、「1.環境パトロール」「2.環境関連のeラーニングの受講」「3.CO<sub>2</sub>削減コンテスト」の3つとしました。

- 施策1：環境パトロール**  
環境マネジメントシステム(EMS)重要ポイントの運用状況の確認
- 施策2：環境関連のeラーニングの受講**  
環境関連法規制などのリスクリング
- 施策3：CO<sub>2</sub>削減コンテスト**  
CO<sub>2</sub>排出量削減に貢献した施策の表彰



## 会社概要 (2025年6月30日現在)

社名 大倉工業株式会社  
設立 1947年7月11日  
資本金 8,619,616,071円

### 事業内容

・各種ポリエチレン製品及びポリプロピレン製品の製造販売  
・光学機能性フィルム等の製造販売  
・パーティクルボード、加工ボード及び加工合板等の製造販売、  
木材加工、宅地造成及び建物建築の販売

## 役員一覧 (2025年6月30日現在)

### 取締役

代表取締役会長 神田 進  
代表取締役社長執行役員 福田 英司  
取締役常務執行役員 田中 祥友  
取締役上席執行役員 植田 智生  
取締役上席執行役員 香川 清造  
※ 取締役(監査等委員) 北田 隆  
取締役(常勤監査等委員) 長尾 誠司  
※ 取締役(監査等委員) 馬場 俊夫  
※ 取締役(監査等委員) 飯島 奈絵  
※ 取締役(監査等委員) 渡邊 洋一  
※ 取締役(監査等委員) 齋藤 伸  
※社外取締役

### 執行役員

上席執行役員 寺元 義純  
執行役員 八十 徹也  
執行役員 平場 智康  
執行役員 大西 一真  
執行役員 野口 克弘  
執行役員 近藤 美穂  
執行役員 木村 雅則

## 株式の状況 (2025年6月30日現在)

発行可能株式総数 28,021,600株  
発行済株式の総数 12,414,870株  
株主数 14,416名

## 大株主(上位10位) (2025年6月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,247千株	11.04%
住友化学株式会社	674千株	5.97%
オークラ共栄会	484千株	4.29%
大倉工業従業員持株会	414千株	3.67%
日本生命保険相互会社	375千株	3.32%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	325千株	2.88%
住友林業株式会社	315千株	2.80%
株式会社ヤフルト本社	251千株	2.23%
株式会社中国銀行	213千株	1.89%
松田 滋明	181千株	1.61%

(注)当社は自己株式1,118,213株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

決算期	毎年12月31日
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	定時株主総会 12月31日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。) 剰余金の配当 期末配当 12月31日 中間配当を行う場合 6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店でっております。
公告の方法	電子公告とし、当社ホームページ ( <a href="https://www.okr-ind.co.jp">https://www.okr-ind.co.jp</a> ) に掲載いたします。 ただし電子公告によることができない事故やその他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場

### 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

夢がある。技術がある。  ができる。



# 大倉工業



本社 / 〒763-8508 香川県丸亀市中津町1515番地  
TEL 0877-56-1111

HP: <https://www.okr-ind.co.jp>